

個人質問(3月6日) 山口清明議員

山口議員は地震・津波の防災対策、リフォーム助成、金城ふ頭開発について質問しました。

南海トラフ地震  
津波防災対策

## 津波3.6m。市内の1/4が浸水 ゼロメートル地帯に名古屋版「命山」を

### 堤防や水門の補強で浸水を防げ

2月発表の市独自の新たな被害想定では、市内の約1/4が浸水します。堤防が地震で75%沈下し、越流で破壊され、水門や護岸なども倒壊するためです。海岸や河川など水際の防災施設の防災機能の強化が必要です。しかし、庄内川は国、新川や天白川は県、海岸線と中川運河、堀川の多くは名古屋港管理組合が管轄し、名古屋市はほとんど関わりません。山口議員は「独自に被害想定を出すなら、それに見合った対策も必要。水際にも積極的に関われ」と追及。局長は「必要な場合は国庫補助事業を活用」と答弁しました。

### 津波避難ビルや名古屋版「命山」を

津波の想定は3.6mとなりました。地震で防波堤や堤防が壊れた後、復旧前に台風や集中豪雨も考えられ

ます。高い避難先の確保は切実です。山口議員は、津波避難ビルの固定資産税減免やマンション等の高層建築物に津波避難ビルの指定



要請、袋井市の「命山(写真)」や蟹江町の「希望の丘」のような人工高台の設置を求めました。消防長は「固定資産税減免の対象外。自発的な協力を求める。まず津波避難ビル、そのうえで研究」と答え、「タワーより丘を」の要求に、市長は「防災もやるが1000mタワーも必要。まずは近くへ逃げよ」と答えました。

その他、防災の担い手づくりの「防災学校」をはじめ防災まちづくりアドバイザーや防災担当職員などの派遣、防災マップコンクールなどを提案しました。

## 環境・福祉・防災に資する リフォーム助成を

札幌、新潟、相模原、北九州などで特色ある住宅リフォーム助成制度が始まり、国も「長期優良化リフォーム推進事業」を予算化しました。省エネやバリアフリーなど住環境の向上策のみならず、地域経済の活性化や雇用環境の改善にも資する制度です。

### 民間の力を引き出す施策に

名古屋のまちづくりの基本は、災害に強いまちづくりであり、低炭素都市や健康安全都市など環境都市をめざすことです。山口議員は「住宅政策の目標を達成させる効果的な手段の一つとして、また増税後の地域経済対策という効果も期待して、いまこそ住宅リフォーム助成制度を具体化する時ではないか」と求め、丈夫で安全快適な住宅改修への投資意欲を高める支援策の提案を行い、マンションなど集合住宅にも適用することを求めました。住宅都市局長は「リフォームに関する様々な助成制度があるので活用を」「マンションは特有の事情もあり、情報提供や相談などをしたい」と答えました。

## 住宅に投資することは大変いいこと(市長)

山口議員は「中小企業に投資を促す施策の住宅版が住宅リフォーム助成だ。民間の力を最大限引き出すという意味で、名古屋版の住宅リフォーム助成の実現を」と強く求め、市長は「住宅に投資することは大変いいこと。だが、国でやらないかん」と答えました。

山口議員は「いいこと言うっていうなら具体化せよ」と無責任な市長を厳しく批判しました。

## 金城ふ頭開発

## 国際展示場は金城ふ頭以外でとの市長の発言について

金城ふ頭に5千台収容、7層8階の巨大な市営の立体駐車場(用地費含め188億円)が建設されています。レゴランドや国際展示場などの駐車場を集約したとの説明です。ところが市長は「20万、30万㎡の国際展示場をつくらうと思ったら金城では狭い、どこかええ土地はないか」と発言。山口議員は「金城ふ頭の開発構想への影響はないか」とただしました。局長は「国際展示場の将来展望の検討は次の展開なので、駐車場やホテル等の計画には直接影響しない」と答えました。